

**原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ  
戦略的原子力共同研究プログラム 事後評価総合所見**

<p>研究課題名：国際核燃料サイクルシステムの構築と持続的運営に関する研究</p> <p>研究代表者（研究機関名）：田中知（国立大学法人東京大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：久野祐輔（独立行政法人日本原子力研究開発機構）</p> <p>研究期間及び研究経費：平成22年度～平成24年度（3年計画） 49百万円</p>	
項 目	要 約
1. 研究の概要	<p>多国間国際核燃料サイクルを安定して維持するための具体的な課題、即ち安定した使用済燃料引き取りシステム及び国際貯蔵システム、抽出プルトニウムの利用、国際核燃料サイクルに適用される地域保障措置体制の確立、国際核燃料サイクル事業体の要件、国際核燃料サイクルシステムにおける産業界の役割といった、国際核燃料サイクルを実現するためのシステム上の問題及びその対応策に関する研究を進め、アジア地域の国際的な核不拡散体制構築に資するため、実効性のある国際核燃料サイクルの全体像をアジア地域を中心に国際社会に提示した。</p>
2. 総合評価	<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>本研究は国内外における先駆的研究であり、自然科学のみならず社会科学等を含めた広い観点から検討が行われ、優れた成果が挙げられていると評価できる。本研究の継続、および、本研究において成果の外部発表が果たす役割は非常に大きい情報発信の継続、を期待したい。</p> <p>S) 極めて優れた成果が挙げられている  <b>A) 優れた成果が挙げられている</b>            B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんど挙げられていない</p>